

2012年度人文学部外部評価
(学力向上支援について:教務)

三重大学人文学部教務委員会

尾西 康充

資料の構成

- 理念と具体的戦略
- カリキュラム概要（文化学科）
- カリキュラム概要（法律経済学科）
- 法律経済学科における学士課程教育改革の検証と成果の活用
- FD活動
- 学力向上支援の取り組み（法律経済学科）
- 少人数教育と現地調査型授業

理念と具体的戦略

いかにして教員が「教育力」を身につけるか

○授業改善のための積極的な取り組み(三重大学教育GP)

・2010・11年度

「人文系学部における質の保証のための具体的基準作り」

・2010・11年度

「人文学部法律経済学科における学士課程教育改革の検証と成果の活用」

・2012・13年度

「カリキュラムポリシー策定と連動した授業の目的・方法の明確化(授業・授業改善指針の作成と戦略的FD体制の検討)」

○多様な授業形態を通じて、学生の積極性や応用力を引き出す

○スタートアップセミナーや専門ゼミなど少人数教育を重視

カリキュラム概要（文化学科）

1年前期 》文化学科スタートアップセミナー

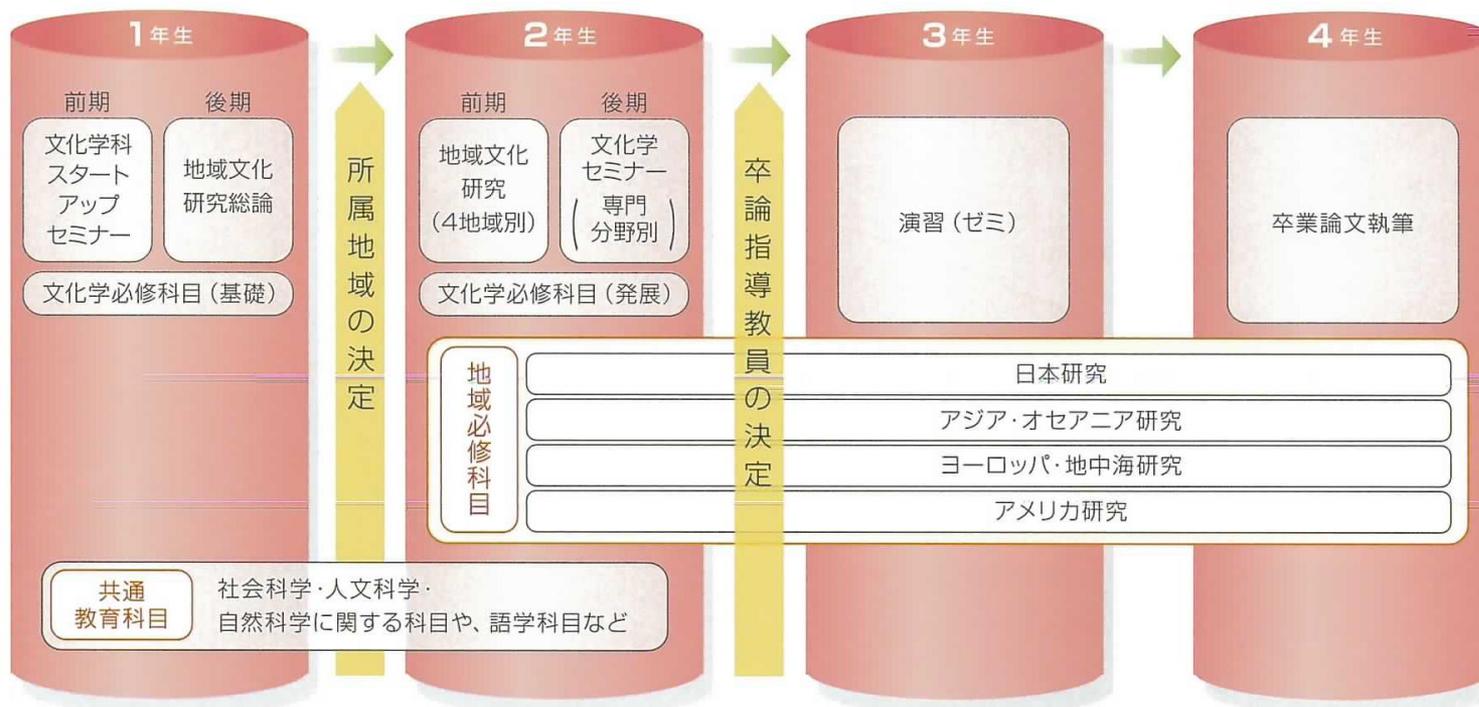
大学での勉強の仕方を学ぶための少人数セミナーで入学後すぐに受講します。自発的な研究の第一歩です。

1年後期 》地域文化研究総論

文化学科における地域文化の学習がどのように行われるのかを概説するもので、この授業をふまえて、自分が所属する地域を選択します。

2年前期 》地域文化研究

各所属地域で開講される総合科目です。各地域の文化を学際的・多面的に分析する講義です。



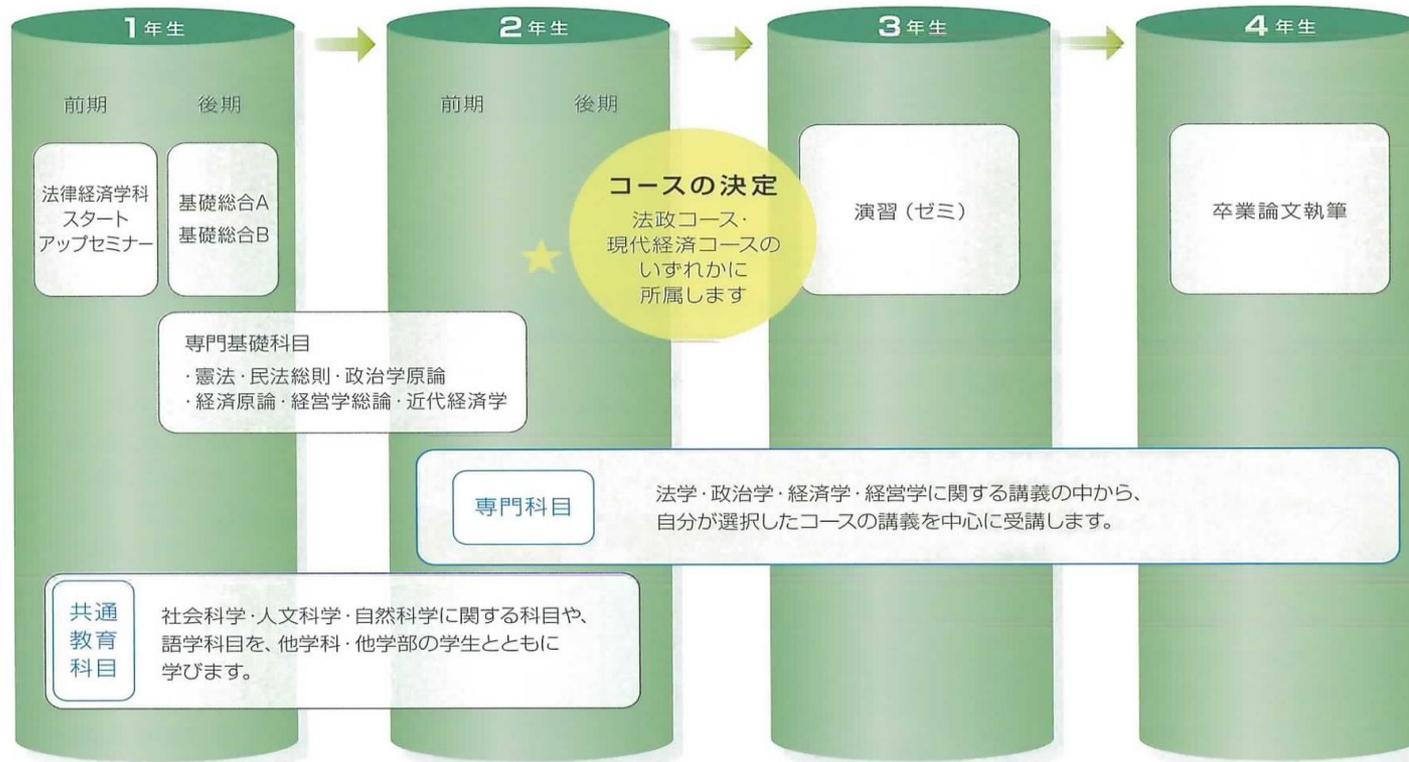
カリキュラム概要（法律経済学科）

1年生 » 法律経済学科スタートアップセミナー

大学での勉強の仕方を学ぶための授業です。（授業規模は20名程度）。参加学生は、教員が事前に用意する文献を主な素材として、当番日に報告を行います。この授業に参加することで、口頭による報告の仕方、配付資料（レジュメ）の作成方法、討論の仕方、レポートの書き方等を身につけます。

3年生 » 演習（ゼミ）

3年次に行われる小規模な授業です。これまでに学習してきたなかで最も関心のあるテーマについて、深く掘り下げて勉強します。また、4年次の卒業論文執筆にあたっては、ゼミの担当教員による指導を受けなければなりません。ゼミは、他の授業とは別格のものです。



法律経済学科における学士課程教育改革の検証と成果の活用

○客観的な検証

「質の保証」シンポジウムー法律経済学科における改革の到達点

- ・在学生・卒業生アンケート
- ・企業アンケート(企業が求める能力とは)
- ・法律経済学科の就職状況と就職支援活動について

○カリキュラムを明確化することで、教育研究の水準が高まって、入学試験の志願者数が増加

FD活動

2011年度FD活動(9年間の実績にもとづいて)

学生・院生・教員による授業アンケート

- ・6月研修会: 前年度実施の授業アンケート結果のフィードバック
- ・7月研修会: 「三重の文化と社会」報告会と修士論文発表会の位置づけ・リレー式授業の改善
- ・10月講演会: 日詰一幸先生(静岡大学人文学部)
「静岡大学人文学部におけるFD活動」
- ・12月研修会: 授業改善の工夫・FD活動の総括

学力向上支援の取り組み(法律経済学科)

「学びのガイドブック その軌跡と到達点」(2012年2月)作成

「学際性」と「専門性」を備えた学びの場をめざして
〈やっています。こんな学び〉

法政コース—複雑な現代社会を生き抜く:リーガルマインドと政策立案能力
現代経済コース—未来を切りひらき、世界で活躍するビジネスリーダー

連続企画「あなたの学び応援します」(企画協力:百五銀行)

「質の保証シンポジウム」Ⅰ:2011年12月16日

法律経済学科における改革の到達点

「質の保証」シンポジウムⅡ:2月9日

「企業が求める人材と人文学部としての質の保証—特にコミュニケーション力をめぐって」

少人数教育と現地調査型授業

- スタートアップ・セミナー(1年前期、合宿、発表会)
- 演習ゼミ形式(現地調査)
- 三重の文化と社会(大学院)年刊「TRIO」
general survey、合宿、現地発表会、報告書
- 域学連携事業(伊賀市)
地域社会の課題を地域社会と共に考える
「忍者」を活かした観光・まちづくり(2012年10月5日)

塚本 明ゼミ

「日本歴史演習C・D、G・H」

10年来、古文書現地調査、調査に基づく学生の分析・報告(テーマは毎年更新)

前期:論文講読(前提となる基礎知識の習得)と史料解読(崩し字解読能力の習得)

後期:グループ学習で個別テーマに即した研究報告、9月と3月に合宿調査

合宿調査は、地元市民グループと共同で実施、調査中に学生に成果発表をさせることもある。

今年9月、熊野での古文書調査実習風景(右の写真、右端の女子学生は津高出身)



後藤 基ゼミ

「マーケティング論演習」

鳥羽市坂手町の空き家対策と活性化方策

実施 2011年8月(2泊3日)

内容 鳥羽市より空き家活用と地域活性化の依頼
ゼミ研究として鳥羽市・坂手町の事前学習と現
地での実証研究を合わせた取り組みを実施。
現地で70戸にヒアリングとアンケートを実施。
2012年2月、結果と方策を現地で報告会を開催。

後藤基ゼミ(2)

鳥羽市坂手町にて現地調査



豊福 裕二ゼミ

「産業経済論総論演習」

「三重の文化と社会」の調査対象市町村に合わせて、学部でもフィールドワークを行う。行政のサポートを得やすく、また現地発表会の場を借りられる。

2003年 津市：津市の産業とくらし

2004年 伊勢市：高齢化のなかでのまちづくり

2005年 伊賀市：「道の駅あやま」の農産物直売と地域農業

2006年 鈴鹿市：自動車リサイクルの現状と課題－三重オートリサイクルセンターの事例を通して

2007年 松阪市：「松阪農業公園ベルファーム」の現状と課題

2008年 四日市市：伊勢茶の現状と課題－茶系飲料の消費実態調査をもとに

2009年 津市：津市美杉地区における林業の活性化－産直住宅の取り組みを事例として

2010年 伊勢市：伊勢市中心街地における商店街の活性化

2011年 名張市：名張市における地産地消の現状と課題

フィールドワーク

市役所、農協などの団体から個人まで...

実際に会って対話することで、新しい情報や課題が生まれる

豊福 裕二ゼミ(2)

2012年9月24～26日 鳥羽答志島
集約市場での見学風景



ゼミでの聞き取り調査風景



野崎哲哉ゼミ(1)

「金融論演習」

現3年生が課外活動として行った学習

- ・2月に1回(大阪造幣局、Asahi工場)
- ・9月に2回(静岡大学との討論合宿)

(八丁味噌、本田技研、宮崎酒造見学)



野崎哲哉ゼミ(2)



青木 雅生ゼミ

「経営学総論演習」

工場見学やフィールドワークの授業実践

2008年8月 もくもくファーム(専務インタビュー)

2008年12月 尾鷲フィールドワーク

2009年6月 トヨタ産業技術記念館見学

2009年9月 キューピー拳母工場見学

2010年1月 日本トランスシティ見学

2010年9月 トヨタ自動車元町工場見学

2012年1月 四日市の中小企業3社訪問・見学

青木 雅生ゼミ(2)

2012年1月 四日市の地元企業訪問(カネスエ製麺所他)

